

様式【学校評価資料】

学校経営目標	具体的計画	令和4年度の達成基準	自己評価(中間)			自己評価(最終)			学校関係者評価
			達成状況	評価	改善策	達成状況	評価	改善策	自己評価の適切さ
1 心の教育の充実	【やさしい子】 ①道徳教育、人権教育、総社っ子応援プロジェクトの取組を充実することにより、児童同士の絆や思いやりの心を育て、長期欠席・不登校やいじめの未然防止に努める。 ②「すきだ総社小学校運動」すすんで挨拶、きちんと歩行、だまって掃除を推進するとともに愛校心を育てる。 (総社を愛す子供)(心優しい子供)(礼儀正しい子供)	①思いやりの心をもって生活しているという回答が85ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【人間関係・特別支援教育】	児童:86.9p 保護者:87.8p 教職員:84.4p 89.25p	B	・ピアサポート、縦割り活動など異学年交流を通して、思いやりの心を育てていく。 ・これまで取り組んできている、児童のよい場面を見つけて撮影した写真の掲示、「くすの葉」の掲示を継続し、PBIS活動を充実する。				
	②進んであいさつができているという回答が85ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【人間関係・特別支援教育】	児童:82.7p 保護者:81.5p 教職員:89.6p	B	・場によって、人によってあいさつはできているが、「だれにでも」あいさつができているとは言えない。道徳科の授業や学級経営を通して、「人」にあいさつをする意識を育て、「だれにでも」あいさつできるようにする。 ・児童玄関のところでのあいさつ運動に集中するのではなく、校内や校門などの場所に分散させて行うことで、いろいろな場面であいさつできるようにする。					
2 健康・体力づくりの推進	【たくましい子】 ③健康教育、特別活動を充実することにより、児童に基本的な生活習慣を身に付けさせる。総社東中学校ブロックの学校園と連携し、ノーメディアの取組を推進する。 ④目標をもって主体的に体力づくりに取り組み、体力の向上を図るとともに最後まで粘り強く頑張る態度を育てる。	③感染症対策として手洗い・マスクの着用、換気を行っているという回答が90ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【保健安全】	児童:91.4p 保護者:89.1p 教職員:96.0p	B	・日頃の声掛けの成果が出ている。新学期などの区切りの時期には、手洗いの励行やマスクの着用、換気について校内放送を行ったり、委員会と連携して手洗いが疎かにならないような取組を行ったりする。 ・引き続き、学校からの配布物を通して各家庭にも啓発・注意喚起する。				
	④睡眠とメディアコントロールを中心に、基本的な生活習慣が身に付くよう取り組んでいるという回答が80ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【保健安全】	児童:87.2p 保護者:81.5p 教職員:82.6p	A	・メディアとの付き合い方について、学級懇談や通信等で啓発を行った。今後も参観授業等で啓発に努めて、家庭と連携しながら取り組む。 ・特に、メディアコントロール週間にはメディアとの付き合い方、睡眠の大切さについて意識が高まるよう、学年の実態に応じて指導をする。					
	⑤自分から進んで運動しているという回答が80ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【保健安全】	児童:83.2p 保護者:81.2p 教職員:85.3p	A	・委員会を中心に「業間運動期間」の活動内容を企画・運営し、全校で運動に親しむことができるようにする。 ・体育の授業では、めあてをもって運動ができるように工夫するとともに、進んで運動しようとする意欲を高めるようにする。					
3 確かな学力の育成	【すすんで学ぶ子】 ⑤児童が主体的・対話的で深い学びを実践し確かな学力が身に付けることができるように授業改善を行う。特に、考える活動や書く活動を重視する。 ⑥朝学習や総小チャレンジタイム、家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着を目指す。	⑥自分の考えや振り返りを書いているという回答が85ポイント以上である。 (児童・教職員) 【学力向上】	児童:85.8p 教職員:88.9p	A	・時間の確保が難しいが、引き続き書く活動を授業の中に位置づけることを意識して取り組む。 ・学年ごとに、書く内容のレベルアップを図る取組をしているので、継続する。				
	⑦国語と算数の単元テストの正答率8割以上の児童が、(低学年80%、中学年75%、高学年70%)80ポイント以上である。 (児童・教職員) 【学力向上】	教職員:82.2p	A	・今までの取組に継続して取り組む。 ・OJTIによる相互授業参観を2学期から行うことで、さらなる授業力の向上を図る。					
	⑧家庭で学年×10分+10分勉強しているという回答が80ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【学力向上】	児童:85.8p 保護者:75p 教職員:85.4p	B	・宿題+自主学習で、目標時間が達成できるよう引き続き指導する。 ・家庭への啓発や宿題の内容の振り返りなど、学年団を中心に取り組む。					
4 地域とともにある学校づくり	⑦各種の便り、ホームページの更新、学校評価、学校公開等により、積極的に情報を発信する。 ⑧きらめきEASTの幼稚園、小・中学校や家庭・地域・関係機関等との連携を深め、児童の健やかな成長を図る。	⑨学校から積極的に情報発信が行われているという回答が85ポイント以上である。 (保護者・教職員)	保護者:83.7p 教職員:86.5p	B	・学年だよりに掲載しきれない学校や学級での子どもの姿が見られるように学年だよりにホームページのURLやQRコードを掲載し、情報発信をしていく。 ・ホームページの担当者を中心にタイムリーなホームページの更新を継続して行う。 ・保護者と普段からの連絡帳や電話、家庭訪問等による連絡をとり、継続して連携を図る。				
	⑩安心・安全な学校生活を送るために、学校内外の安全確保の取組を行っているという回答が90ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員)	児童:88.8p 保護者:86.6p 教職員:92.3p	B	・学校支援ボランティアと協力して、登校は校長と生徒指導が自転車で学区を見回り、下校は曜日ごとに担当学年を決めて下校指導を行う。 ・校内のきまりやルールを教職員で共通理解を図って指導する。特に、①あいさつ②廊下歩行③だまって移動することについて重点的に取り組むため、教職員や児童による校内放送で繰り返し意識づけを行う。 ・委員会を中心に廊下歩行やだまって移動について全校で取り組む。					